

古代ユダヤにおける宗教暦と政治暦

宗教暦（または「教暦」「新暦） 春から1年が始まる暦の考え方

政治暦（または「政暦」「旧暦） 秋から1年が始まる暦の考え方

宗教暦の年始めの月は「ニサンの月」（別名「アビブの月」）で、太陽暦（グレゴリオ暦）の3月から4月の時期にあたる。

政治暦では秋から新年が始まるのでこの月は7番目（閏年では8番目）ティシュリの月になる。

	宗教暦						政治暦						
太陽暦	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月(ヘブライ暦)	第一の月	第二の月	第三の月	第四の月	第五の月	第六の月	第七の月	第八の月	第九の月	第十の月	第十一の月	第十二の月	
ユダヤ暦	ニサン Nisan, Nissan	イヤール Iyyar	シバン Siwan, Sivan	タムーズ Tammūz	アブ Abh, Av	エルール Elul	ティシュリ Tishri	マルハ シバン Marcheswān	キスレーヴ Kislev, Kislev	テベット T'ebheth	シユバット Sabhāt	アダール Adhār, Adar	
バビロニアの月名 ():カナンの古称	ニサン (アビブ)	イヤール (ジウ)	シワン	タンムズ	アブ	エルル	ティシュリ (エタニム)	ハシュワン (フル)	キスレウ	テバト	シェバト	アダール	
主な行事	←← 七週間 →→		七週祭(シャブオット)→詩編68:2~4を朗読 五旬祭(ペンテコステ Pentecoste ギリシア語) ※ユダヤの三大祭:過越祭、七週祭、仮庵祭				1:新年 新年祭(ロシユ・ハシヤナ)※1 10:大贖罪日(ヨム・キップール) 15~21:仮庵祭(スコット)		25:宮清めの祭(光の祭り、ハヌカ) (25日~8日間) ※1:Rash Hashanah(ラッシュ・ハナナ) (頭) (年)				
	14~21 過越祭(ベサハ) 除酵祭		→過越祭(ニサンの月の14~21日) { ①過越祭(過越しの祭り):ニサンの月の14日の日没~15日の日没 ②除酵祭(種を入れないパンの祭り):15日の日没~21日の日没										

- ・ユダヤ暦は、日本の旧暦と同じく、月の満ち欠けを基準に月を決める方式(太陰太陽暦)です。
- ・ユダヤ暦は、一日が日没(夕方)に始まり、次の日の日没(夕方)に終わります。それは、聖書の創造の記事に「夕べがあり、朝があった」(創世記1:5他)と記されているからです。
- ・イスラエルでは普段の生活には、西暦も使っていますが、ユダヤ教の祝祭日や公式行事はユダヤ暦によって決められています。
- ・ユダヤ暦は天地創造を起点にして数えることになっており、西暦+3760年(西暦よりも3760年長い)となる。

▶月名が2つ存在する理由は、バビロン捕囚期（『列王記』までの時代と『エズラ記』より後の時代の間期）にバビロニア暦の影響を受けて、月の名に変化があったためという説がある。

▶ユダ族（南王国）では政治暦を使っていたため、現代のユダヤ暦も政治暦に準拠している。

▶BC722年の大帝国アッシリアによる北王国滅亡以降は政治暦を主としつつも古くから両者が並行していた。

【参考】ユダヤ紀元

創世紀元、宇宙創世紀元、あるいは世界紀元（Anno Mundi、アンノ・ムンディ）は、ユダヤ教において神が世界を創世した日とされ、西暦換算で紀元前3761年10月7日を紀元とする紀年法である。

グレゴリオ暦との間では差（天地創造を起点にして数えることになっており、西暦よりも3760年長い）があるため、現在の西暦と日付は対応していない。ただし、これは中世に算出されたもので古代ユダヤ史とは関わりがない。

【参考】聖書に登場する「第一の月」「第七の月」（次頁、次々頁を参照）

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 21 / 聖句等の総数 33250 (第一の月)22個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 第一の月]
K 出エジプト記	40:2 第一の月の一日に幕屋、つまり臨在の幕屋を建てなさい。	
K 出エジプト記	40:17 第二年の第一の月、その月の一日に、幕屋が建てられた。	
K レビ記	23:5 第一の月の十四日の夕暮れが主の過越である。	
K 民数記	9:1 エジプトの国を出た翌年の第一の月、主はシナイの荒れ野でモーセに仰せになった。	
K 民数記	9:5 彼らは第一の月の十四日の夕暮れに、シナイの荒れ野で過越祭を祝った。イスラエルの人々は、すべて主がモーセに命じられたとおりに祝った。	
K 民数記	20:1 イスラエルの人々、その共同体全体は、第一の月にツィンの荒れ野に入った。そして、民はカデシュに滞在した。ミリアムはそこで死に、その地に埋葬された。	
K 民数記	28:16 第一の月の十四日は、主の過越である。	
K 民数記	33:3 イスラエルの人々は、第一の月の十五日にラメセスを出発した。すなわち、過越の翌日、すべてのエジプト人の目の前を意気揚々と出て行った。	
K ヨシュア記	4:19 第一の月の十日に、民はヨルダン川から上がって、エリコの町の東の境にあるギルガルに宿営した。	
K 歴代誌上	12:16 第一の月にヨルダン川が水位を増して、至るところで岸を越えたとき、川を渡って谷の住民を西に東に追い散らしたのは彼らであった。	
K 歴代誌上	27:2 第一の月を担当する第一の組を率いるのは、ザブディエルの子ヤシヨブアムであった。その組に二万四千人いた。	
K 歴代誌上	27:3 彼はペレツの子らの一人で、第一の月にかかわる全將軍の頭であった。	
K 歴代誌下	29:3 その治世の第一年の第一の月に、ヒゼキヤは主の神殿の扉を開いて修理し、	
K 歴代誌下	29:17 第一の月の一日に、彼らは聖別を始め、その月の八日には主の前廊に達した。更に八日をかけて主の神殿を聖別し、第一の月の十六日にそれを終えた。	
K 歴代誌下	35:1 ヨシヤはエルサレムにおいて主の過越祭を祝い、第一の月の十四日に過越のいけにえを屠った。	
K エズラ記	6:19 捕囚の子らは、第一の月の十四日に過越祭を行った。	
K エズラ記	7:9 彼らは第一の月の一日をバビロン出発の日とし、神の慈しみ深い御手の加護を受けて、第五の月の一日にエルサレムに到着した。	
K エズラ記	8:31 わたしたちは第一の月の十二日に、エルサレムに向かってアハワ川を出発した。道中待ち伏せる敵の攻撃も、神の御手に守られて、免れることができた。	
K エズラ記	10:17 第一の月の一日に、異民族の嫁を迎え入れた男子の調査をすべて終えた。	
K エステル記	3:7 クセルクセス王の治世の第十二年の第一の月、すなわちニサンの月に、ハマンは自分の前でプルと呼ばれるくじを投げさせた。次から次へと日が続き、次から次へと月が動く中で、第十二の月すなわちアダルの月がくじに当たった。	
K エステル記	3:12 こうして第一の月の十三日に、王の書記官が召集され、総督、各州の長官、各民族の首長にあてて、ハマンの命ずるがままに勅書が書き記された。それは各州ごとにその州の文字で、各民族ごとにその民族の言語で、クセルクセス王の名によって書き記され、王の指輪で印を押してあった。	

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 22 / 聖句等の総数 33250 (第七の月)22個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 第七の月]
K 創世記	8:4 第七の月の十七日に箱舟はアララト山の上に止まった。	
K レビ記	16:29 以下は、あなたたちの守るべき不変の定めである。第七の月の十日にはあなたたちは苦行をする。何の仕事もしてはならない。土地に生まれた者も、あなたたちのもとに寄留している者も同様である。	
K レビ記	23:24 イスラエルの人々に告げなさい。第七の月の一日は安息の日として守り、角笛を吹き鳴らして記念し、聖なる集会の日としなさい。	
K レビ記	23:27 第七の月の十日は贖罪日である。聖なる集会を開きなさい。あなたたちは苦行をし、燃やして主にささげる献げ物を携えなさい。	
K レビ記	23:34 イスラエルの人々に告げなさい。第七の月の十五日から主のために七日間の仮庵祭が始まる。	
K レビ記	23:39 なお第七の月の十五日、あなたたちが農作物を収穫するときは、七日の間主の祭りを祝いなさい。初日にも八日目にも安息の日を守りなさい。	
K レビ記	23:41 毎年七日の間、これを主の祭りとして祝う。第七の月にこの祭りを祝うことは、代々にわたって守るべき不変の定めである。	
K レビ記	25:9 その年の第七の月の十日の贖罪日に、雄羊の角笛を鳴り響かせる。あなたたちは国中に角笛を吹き鳴らして、	
K 民数記	29:1 第七の月の一日には聖なる集会を開く。いかなる仕事もしてはならない。角笛を吹き鳴らす日である。	
K 民数記	29:7 第七の月の十日には聖なる集会を開く。あなたたちは苦行をし、いかなる仕事もしてはならない。	
K 民数記	29:12 第七の月の十五日には聖なる集会を開く。いかなる仕事もしてはならない。七日の間主の祝いをする。	
K 列王記上	8:2 エタニムの月、すなわち第七の月の祭りに、すべてのイスラエル人がソロモン王のもとに集まった。	
K 列王記下	25:25 ところが第七の月に、王族の一人、エリシャマの孫でネタンヤの子であるイシュマエルが、十人の部下を率いて来てゲダルヤを打ち殺した。彼と共にミツパにいたユダの人々もカルデア人も打ち殺された。	
K 歴代誌上	27:10 第七の月を担当する第七の将軍はエフライムの子らの一人ペロ二人ヘレツ。その組に二万四千人いた。	
K 歴代誌下	5:3 第七の月の祭りに、すべてのイスラエル人が王のもとに集まった。	
K 歴代誌下	7:10 第七の月の二十三日に王は民を自分たちの天幕に帰させた。彼らは、主がダビデとソロモンとその民イスラエルになされた恵みの御業を喜び祝い、心は晴れやかであった。	
K 歴代誌下	31:7 第三の月に、その積み上げが始まり、第七の月に終わった。	
K エズラ記	3:1 第七の月になって、イスラエルの人々は自分たちの町にいたが、民はエルサレムに集まって一人の人のようになった。	
K エズラ記	3:6 第七の月の一日に、彼らは主に焼き尽くす献げ物をささげ始めた。しかし、主の神殿の基礎はまだ据えられていなかった。	
K ネヘミヤ記	7:72 第七の月になり、イスラエルの人々は自分たちの町にいたが、	
K ネヘミヤ記	8:2 祭司エズラは律法を会衆の前に持って来た。そこには、男も女も、聞いて理解することのできる年齢に達した者は皆いた。第七の月の一日のことであった。	

	タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：第七の月]</p> <p>章:節 聖句 [検索対象総数：22 / 聖句等の総数 33250 <第七の月>22個]</p>
K	ネハミヤ記	8:14 主がモーセによって授けられたこの律法の中にこう記されているのを見いだした。イスラエルの人々は第七の月の祭りの期間を仮庵で過ごさなければならず、

【参考】 聖書に登場する「ニサン」「アビブ」

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 7 / 聖句等の総数 33250 <ニサン>2個<アビブ>7個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ニサン・アビブ]
K 出エジプト記	13:4 あなたたちはアビブの月のこの日に出発する。	
K 出エジプト記	23:15 あなたは除酵祭を守らねばならない。七日の間、わたしが命じたように、あなたはアビブの月の定められた時に酵母を入れないパンを食べねばならない。あなたはその時エジプトを出たからである。何も持たずにわたしの前に出てはならない。	
K 出エジプト記	34:18 あなたは除酵祭を守りなさい。七日の間、アビブの月の定めの日、わたしが命じた酵母を入れないパンを食べなさい。アビブの月に、あなたはエジプトを出たからである。	
K 申命記	16:1 アビブの月を守り、あなたの神、主の過越祭を祝いなさい。アビブの月のある夜、あなたの神、主があなたをエジプトから導き出されたからである。	
K ネヘミヤ記	2:1 アルタクセルクセス王の第二十年、ニサンの月のことであった。王はぶどう酒を前にし、わたしがぶどう酒を取って、王に差し上げていた。わたしは王の前で暗い表情をすることはなかったが、	
K エステル記	3:7 クセルクセス王の治世の第十二年の第一の月、すなわちニサンの月に、ハマンは自分の前でプルと呼ばれるくじを投げさせた。次から次へと日が続き、次から次へと月が動く中で、第十二の月すなわちアダルの月がくじに当たった。	
K エゼキエル書	3:15 こうしてわたしは、ケバル川の河畔のテル・アビブに住む捕囚民のもとに来たが、彼らの住んでいるそのところに座り、ぼう然として七日間、彼らの間にとどまっていた。	

【参考】 聖書に登場する「エタニム」

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 1 / 聖句等の総数 33250 <エタニム>1個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : エタニム]
K 列王記上	8:2 エタニムの月、すなわち第七の月の祭りに、すべてのイスラエル人がソロモン王のもとに集まった。	